

やまのめ

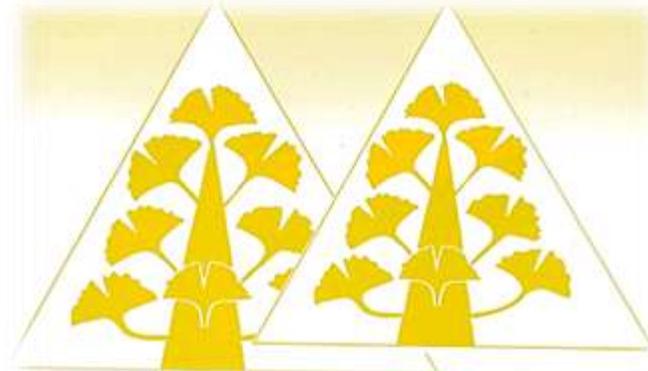
一関市立山目小学校 校報 No.29
2024. 2. 21 文責:校長 菊池



◆ 祝150周年 ◆

おおいちょう

シンボルだった大公孫樹



山小卒業生や旧職員にとって、なつかしく思い出されるのが、大きな公孫樹（いちょう）の木です。

一関二高時代から旧体育館脇にそびえ立っていた2本の公孫樹は、まさに本校のシンボルでした。体育館建替えに伴い平成20年、公孫樹は惜しまれながらお別れとなりました。下の写真は、保護者の要望をもとに開催した「いちょうとのお別れ会」の様子です。



【公孫樹とのお別れ会 蘭梅No.166より】

山小の公孫樹（いちょう）

旧職員 ○○ ○○

体育館脇にそびえ立つ二本の公孫樹には、時の流れを感じさせる風格があり、四季折々にいろいろな風情をみせてくれました。幹のたくましさ、そびえ広がる無数の葉や枝、そして何よりびくともしない大樹を支える根に心がいくとき、その広がりや深さに感動を覚えます。本当に山小のシンボルに相応しい大公孫樹です。

窓から眺める公孫樹は、とても豊かに穏かに、たくさんのことを教えてくれました。（中略）

青い葉を枝々につけ、青空いっぱいそびえる夏の公孫樹は、自分の無力を嘆くより、微力であっても、山小の大樹の一枝としての誇りをもてと叱咤してくれました。

黄色に染まった見事な秋の公孫樹は、子どもたちの美しい合唱やスポーツの活躍を心から喜んでいるように思いました。

すべての葉を土にかえし、寒々とした空に雄々しく立つ冬の公孫樹は、人間の生き方は根にあるということを知らせてくれました。（後略）

（創立120周年記念誌より）



【旧体育館脇の大公孫樹 秋晴れに映える黄色】

一輪車 あいがとうございませす

PTA から8台寄贈

PTA から一輪車8台を寄贈いただきました。これは、運動会 HONBU ストアの売上金 10,639 円と文化祭 PTA 協賛事業（ごちそう広場、青空マーケット、広報写真販売）の益金 67,000 円から寄贈いただいたものです。

学校にはこれまでも一輪車はありましたが、毎日の使用により、破損や老朽化が目立っていました。

一輪車は、楽しみながらバランス感覚や体幹をきたえられることに加え、仲間と一緒に新しい楽しみ方や技に挑戦できる優れたものです。また、運動の得意不得意にかかわらず、練習の成果が実感できるのも魅力です。

子どもたちは、新しい一輪車に大喜びで乗ることでしよう。運動会で飲んだあの飲み物が、文化祭で食べたあのスイーツが、子どもたちの笑顔につながると、とてもうれしい気持ちになりますね。

PTA の皆様、ありがとうございます。



【PTA 寄贈の一輪車】

